

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

令和5年3月25日 第246号

〔代議員総会開催通知及び議案書〕



第64回 定時代議員総会

と き 令和5年5月26日(金)

ところ 土浦市 ウララビル 5階



この資料は再配付いたしませんので
関連会議には必ずご持参願います。

公益社団法人 全国病院理学療法協会

諸会議・学会日程表

	5月26日 (金)	5月27日 (土)	5月28日 (日)
		6F中講座室2	多目的ホール
9:00		9:00～受付 ホワイエ	
9:30		9:20～開会式	
10:00		9:30～10:20 会員演題発表Ⅰ No.1～5 演者受付 5F小講座室4	9:30～10:20 会員演題発表Ⅱ No.6～11 演者受付 5F小講座室4
10:30			
11:00		10:30～12:00 特別講演Ⅰ	10:30～12:00 市民公開講座
11:30			
12:00			12:00～12:50 会員演題発表Ⅲ No.12～16 演者受付 5F小講座室4
12:30	12:30～13:00 定時代議員総会受付	12:00～13:00 休 憩	12:50～13:00 閉会式
13:00	13:00～17:00 第64回 定時代議員総会	13:00～13:20 総会報告会	
13:30			
14:00		13:30～15:00 特別講演Ⅱ	
14:30			
15:00		15:00～15:30 記念式典準備	
15:30		15:30～17:00 協会創立75周年 法人認可60周年 記念式典	
16:00			
16:30			

※参加者受付は、多目的ホール前のホワイエで行います。

※5月26日(金)の本部及び学会事務局控室は、5Fの小講座室4です。

※5Fと6F間にエレベーターはございませんので、階段をご利用ください。

※会場及び施設内での飲食は禁じられておりますので、近隣の飲食店をご利用ください。

役員 各位
代議員 各位

公益社団法人 全国病院理学療法協会
会長 平野 五十男

第 64 回 定時代議員総会開催通知

このことについて、下記により開催いたしますので、ご出席くださいますよう
ご通知いたします。

記

1. 日 時 令和 5 年 5 月 26 日(金) 午後 1 時 開会
2. 会 場 茨城県県南生涯学習センター
3. 議 題

- | | |
|---------|-------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 4 年度 事業報告 |
| 第 2 号議案 | 令和 4 年度 収支決算報告及び監査報告 |
| 第 3 号議案 | 表彰に関する承認 |
| 第 4 号議案 | 第 72 回 日本理学療法学会の開催に係る承認 |
| 第 5 号議案 | 第 73 回 日本理学療法学会 開催地の決定 |
| 第 6 号議案 | 協会創立 75 周年記念誌発行の承認 |
| 第 7 号議案 | 役員改選管理委員の選任及び承認 |

4. 報告事項

1. 令和 5 年度 基本姿勢及び事業計画
2. 令和 5 年度 予算書

5. 代議員総会のオブザーバー参加について

希望者は総会オブザーバーとして、総会の傍聴が出来ます。
各支部 2 名以内で、4 月 30 日まで。支部長から申し込んでください。
なお、オブザーバーには、旅費は支給されません。

第64回 定時代議員総会議案書の作成及び送付について

議案書の作成については、各支部・地方会から提出された提言や要望等を理事会において審議し、その結果を議案書に取り入れました。

なお、理事会の審議結果の要旨については、この議案書の中に掲載しております。

議案書等目次

第1号議案	令和4年度 事業報告	4
第2号議案	令和4年度 収支決算報告及び監査報告	6
第3号議案	表彰に関する承認	6
第4号議案	第72回 日本理学療法学会の開催に係る承認	6
第5号議案	第73回 日本理学療法学会 開催地の決定	7
第6号議案	協会創立75周年記念誌発行の承認	7
第7号議案	役員改選管理委員の選任及び承認	7

報告

1.	令和5年度 基本姿勢及び事業計画	8
2.	祝賀会の開催案内について	10
3.	令和5年度 収支予算書	11
4.	財務状況の推移	12
5.	令和4年度 会費納入状況	13
6.	令和5年度 会費納入案内	14
7.	令和4年度 臨時理事会議事録(抄)	15
8.	令和4年度 第3回 理事会議事録(抄)	16
9.	諸会議及び役員渉外行動報告	21
10.	本部発信文書一覧	22
11.	青柳利之先生「藍綬褒章」受章の荣誉に輝く	23
12.	支部・地方からの提言・要望(要旨)	24
13.	協会ホームページの更新履歴報告	25
14.	令和5年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表	26

第1号議案 令和4年度 事業報告

1. 事務局

- 1) 会議の企画、準備、開催、議事録の作成
 - (1) 定時代議員総会 1回
 - (2) 定時代議員総会報告会 1回
 - (3) 理事会 3回(オンライン)
 - (4) 臨時理事会 3回(オンライン・他)
 - (5) 地方会代表者会議 3回(オンライン)
- 2) 事務処理及び管理
 - (1) 葵税理士法人との決算処理作業
 - (2) 法人業務及び会計に係る報告書作成、並びに内閣府への提出
 - (3) 関連省庁、団体、学会等に対する各種要望書作成と、要望活動
 - (4) 各支部から提出された令和3年度事業報告、決算報告等の整理、管理
- 3) その他
 - (1) 東洋療法研修試験財団生涯研修作業部会への参画 1回(オンライン)
 - (2) あはき等法推進協議会への参画 7回(オンライン)
 - (3) 新型コロナウイルス感染のマッサージ等における視覚障害者への影響に関する調査委員会 5回(オンライン)

2. 情報管理局

- 1) 協会ホームページ関連業務
 - (1) 新着情報の原稿作成、掲載
 - (2) 各ページの内容更新・追加、デザイン変更
 - (3) 各部局とホームページへ掲載する原稿の確認
 - (4) オンライン配信業務(第70回日本理学療法学会 Web 配信)
- 2) 財務クラウド等関連業務
 - (1) 更新作業(年度末更新、四半期更新、登録更新)
 - (2) 各部局、会員からの問い合わせ対応
 - (3) 財務クラウドリニューアルに関する委託業者との連絡、調整
 - (4) 財務等クラウドサーバー移換及びシステムリニューアルに係る会議 9回(オンライン・他)

3) その他

- (1) 各オンライン会議(Zoom ミーティング)の設定
- (2) 動画サイト(Vimeo)の運用管理・アップロード 4回

3. 組織局

- 1) 会員登録事項届の受理及び処理依頼
- 2) 令和4年度入退会者数の報告、役員名簿の作成
- 3) 組織管理クラウド情報の更新による会員の実態把握
- 4) 組織拡充対策部会の設置に向けた準備、調整
 - (1) 組織拡充対策準備会議 1回(オンライン)
 - (2) 第1回 組織拡充対策会議(オンライン)
- 5) 会員実態調査の依頼、各支部での集計と本部への報告依頼
- 6) 会員実態調査内容の集計と分析

4. 保険局

- 1) 令和4年度診療報酬改定に係る情報収集及び広報、協会ホームページへ掲載
- 2) 診療報酬及び介護報酬の問い合わせ対応
- 3) 中央社会医療審議会(中医協)及び、介護給付費分科会の資料検索
- 4) 令和6年度 診療報酬、介護報酬の同時改訂に係る情報収集

5. 広報局

- 1) 広報244号~246号の編集、校正作業
- 2) 広報244号(7月発行) 1,100部 印刷製本
- 3) 広報245号(12月発行) 1,100部 印刷製本
- 4) 広報246号(3月発行) 1,100部 印刷製本
 - (1) 会議議事録(抄)の作成並びに掲載原稿の依頼

(2)大圏社及びデイジー横浜との校正作業

6. 財務局

1) 会費納入状況(令和5年2月19日現在)

(1)会費納入対象者 1,149名
納入者 1,072名・未納者 77名

(2)過年度会費未納者
令和2年度 22名
令和3年度 38名

2) 財務業務

- (1)葵税理士法人との財務作業
(2)令和4年度の財務処理は、第3四半期まで終了
(3)会費未納者に対する請求を今年度未納者、過年度(令和2年度・3年度)未納者に2回実施、また地方会・支部の協力で直接声かけを実施
(4)令和5年度の予算編成作業を実施

7. 学術局

1) 全 般

- (1)第70回 日本理学療法学会 Web 開催
(2)第71回 日本理学療法学会開催地(茨城県支部)との打ち合わせ

2) 教育部

(1)第45回 理学療法指導者講習会開催(対面式)

日 程：令和4年10月16日(日)
場 所：神奈川県平塚市「ひらつか市民活動センター」
テーマ：「大腿骨近位端骨折の予防に向けて」
～ダイナミックフラミンゴ運動～

講 師：昭和大学医学部整形外科客員教授 阪本 桂造 先生

受講者：27名

(2)第45回 理学療法指導者講習会 DVDを令和4年12月発送

8. 理療出版部

- 1) 令和4年度 理療出版内容の検討及び原稿依頼
2) 令和4年度 理療原稿の収集、校正、編集作業

3) あはき師、柔整師養成校などへ理療寄贈

(1)他団体関係 29件

(2)養成校関係171校(理療CD版同包59校)

4) 理療200号別冊総索引(第151号～第200号)編集

5) 印刷製本部数

- (1) Vol 51 No.4(200号/5月) 1,400部
(2) Vol 51 No.4(200号/別冊) 1,200部
(3) Vol 52 No.1(201号/8月) 1,400部
(4) Vol 52 No.2(202号/11月) 1,400部
(5) Vol 52 No.3(203号/2月) 1,400部

9. 特殊出版部

- 1) 理療「音声対応CD」No.200号 46部
理療「音声対応CD」No.201号 45部
理療「音声対応CD」No.200号別冊 44部
理療「音声対応CD」No.202号 44部
理療「音声対応CD」No.203号 44部
2) 広報「CD版」No.244号 24部
広報「CD版」No.245号 23部
広報「CD版」No.246号 23部
3) 広報「デイジー版」No.244号 24部
広報「デイジー版」No.245号 23部
広報「デイジー版」No.246号 23部

10. 運動療法機能訓練技能講習会委員会

1) 神奈川県支部にて開催(対面式)

日 程：令和4年9月17日～
令和5年2月12日

場 所：伊勢原市シティープラザ
受講者：32名

2) 第29回 技能認定試験実施

日 程：令和5年2月26日

11. 技能認定登録制度委員会

- 1) 令和4年度 単位取得講習会報告書の審査及び承認単位通知書の発行
2) 技能認定登録及び技能認定登録更新等の遂行
3) 学会・講習会開催案内のホームページ掲載
4) 新型コロナウイルス感染拡大に係わる技能認定登録制度の登録更新延長の特例措置は、令和4年度末で終了とする。

12. 表彰選考委員会

- 1) 叙勲・褒章に係る関係官庁との折衝
- 2) 北海道地方会創立 70 周年記念式典に係る会長賞の選考
- 3) 協会創立 75 周年・法人認可 60 周年記念式典に係る表彰推薦者の選考

会 場：日本教育会館

参加者：371 名（会員外 4 名含む）
市民公開講座（一般 181 名）
技能認定登録 10 単位（交付数 330 名・交付率 89.94%）

13. 第 70 回 日本理学療法学会 関連事業

- 1) 学会収録（特別講演 2 席、市民公開講座、シンポジウム、総会報告会等）

日 時：令和 4 年 5 月 28 日（土）・29 日（日）

- 2) 動画配信を 7 月 1 日～7 月 31 日まで協会ホームページより Vimeo で配信
- 3) 準備委員会 8 回（オンライン）
- 4) 会計決算報告（広報 245 号掲載）

以上

第 2 号議案 令和 4 年度 収支決算報告及び監査報告

「令和 4 年度 事業報告」及び「令和 4 年度 決算報告」については、4 月 29 日に予定されている「令和 4 年度監査」終了後に理事会の承認を受け、代議員へ送付する。

第 3 号議案 表彰に関する承認

1. 栄誉賞

令和 4 年	春の褒章	藍綬褒章	小 川 嗣 人 氏
令和 4 年	秋の褒章	藍綬褒章	青 柳 利 之 氏

2. 学会長・準備委員長表彰

第 70 回	日本理学療法学会	学 会 長	小 川 嗣 人 氏
		準備委員長	杉 浦 幹 雄 氏

3. 組織拡大貢献支部表彰 該当支部無し

4. 学術奨励賞 未 定

5. 特別感謝状 未 定

第 4 号議案 第 72 回 日本理学療法学会の開催に係る承認

第 72 回 日本理学療法学会の開催は本部が担当し、1 日学会として開催する。

（第 3 回理事会議事録 P18 参照）

第5号議案 第73回 日本理学療法学会 開催地の決定

近畿地方会

第6号議案 協会創立75周年記念誌発行の承認

協会創立75周年を記念して「創立75周年記念誌」を発行する。

(第3回理事会議事録P17参照)

第7号議案 役員改選管理委員の選任及び承認

佐々木 剛 (北海道・東北・関東甲信越)

松田 覚 (北陸・中部・近畿)

武智 健二 (中国・四国・九州)

令和5年度 基本姿勢及び事業計画

3年ぶりに対面式で開催した第63回 定時代議員総会で決定された事業の推進状況と、各地方会及び支部から寄せられた意見、要望を踏まえ、理事会において審議し、令和5年度基本姿勢を作成するものである。

なお、新型コロナウイルス感染者数は、未だ増減を繰り返しているため、その状況に鑑み、各事業の立案、実施にあたっては、会員の安全を最優先とし、国及び地方自治体、会員の勤務する職場等の感染対策を念頭に置き、執り行うこととする。

1. 学識、技術の向上

理学療法従事者の学識、技術を向上させる目的で、日本理学療法学会及び運動療法機能訓練技能講習会並びに、理学療法指導者講習会等を主催するとともに、学術誌の発行、技能認定登録制度に伴う単位取得講習会の充実。併せて研究活動の指導を推進する。

2. 診療報酬制度における取り組み

技能認定登録者が実施するリハビリテーション等のエビデンス集積と、職場における会員の实態について把握し、消炎鎮痛処置における手技療法の評価見直しについて、厚生労働省等へ要望を行う。

また、技能認定を行っているはり師きゅう師を、疾患別リハビリテーション料の施設基準における算定要員として、組み入れられるよう活動を継続する。

3. 介護報酬制度における取り組み

技能認定登録者が実施するリハビリテー

ション及び個別機能訓練等のエビデンスの集積と、職場における会員の实態について把握し、厚生労働省へ要望を行う。

4. 技能認定登録制度の推進

平成15年度に発足したこの制度は、平成18年度の診療報酬改定並びに、平成21年度の介護報酬改定で、「運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに、定期的に適切な研修を修了しているあん摩マッサージ指圧師、柔道整復師等」として、算定要員に位置付けられている。

今後、講習会等の更なる充実を図り、技能認定登録者がリハビリテーション及び機能訓練等の領域において容認され、その役割を確立できるよう努力する。

5. 医療法上の位置付けを推進

医療機関及び介護保険施設等で、リハビリテーション並びに機能訓練等に従事しているあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び、柔道整復師について、医療法に基づく「医療従事者」として位置付けられるよう、活動を推進する。

6. 組織強化

公益社団法人としての事業を推進するため、組織の充実と財政基盤の強化を図る。

組織の拡充については、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師の養成校に対し、卒業生の本協会への入会を呼びかける他、介護保険分野のリハビリテーション及び機能訓練従事者に対しても、積極的に入会を勧める。

<事業計画>

1. 事務局

- 1) 協会の主要会議の在り方等について、常に検討し効率化を図る。
- 2) 各種会議の企画、準備、開催に係る業務(1)及び(2)は、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、対面式とオンラインを適宜検討
- 3) 文書の作成と発出及び收受、保管、管理
- 4) 公益社団法人に係る業務
- 5) 各種情報収集と関連部局への伝達
- 6) 関係官庁、学会、その他関連団体との連絡調整
- 7) オンラインによる講習会の推進(学術局等と連携)
- 8) 大崎駅周辺の大規模開発に伴うマンション管理会議への参加

2. 情報管理局

協会ホームページ・財務クラウド等の安定運用を基本に関連部局と連携を図り、適切な情報通信に努める。

- 1) 協会ホームページの運用、管理
- 2) 財務クラウド等運用業務(財務クラウド新システム移行作業含む)
- 3) 協会内オンライン会議の設定
- 4) 動画サイトの運用、管理

3. 組織局

- 1) 会員登録事項変更届の受理及び処理作業・管理の継続
- 2) 令和5年度入退会者数の報告、役員名簿の作成
- 3) 各部局との会員登録事項の情報提供による連携
- 4) 会員登録事項の整理と管理についての会員情報の提供依頼
- 5) 組織拡充対策部会の開催への準備、調整及び計画
- 6) 組織拡充対策部会での意見調整及び提案

4. 保険局

- 1) 診療報酬及び介護報酬に関する問い合

わせ対応

- 2) 令和6年度の診療報酬及び介護報酬の同時改定に向け、厚生労働省への要望の在り方検討(地方会、支部の意見を集約し、要望に反映する)
- 3) 関連学会、他団体へ厚生労働省等への要望に関する協力依頼検討
- 4) 令和6年度の診療報酬及び介護報酬改定に係る情報収集、会員への情報提供

5. 広報局

協会事業並びに各部局及び委員会の活動状況について、会員への効率的な情報発信と協会活動の周知に努める。

- 1) 広報発行(年3回)
 - (1) 広報247号(7月発行予定)
 - (2) 広報248号(12月発行予定)
 - (3) 広報249号(3月発行予定)
- 2) 編集委員会開催(3回予定)
 - (1) 広報内容の検討並びに発行原稿の作成
 - (2) 編集、校正、発行に係る作業

6. 財務局

- 1) 事業活動が滞りないように適正な資金運用を図る。
- 2) 会費の速やかな納入を促す。
- 3) 未収会費の回収に努める。
- 4) 地方会及び支部との連絡、調整を行い、適正な財務活動に務める。

7. 学術局

- 1) 全般
 - (1) 第71回 日本理学療法学会開催(茨城県土浦市 県南生涯学習センター)
 - (2) 東洋療法研修試験財団生涯研修会開催計画書の提出
- 2) 研究部
 - (1) 学術関連資料情報収集
 - (2) 運動療法機能訓練技能講習会課題レポートの学術奨励賞選考
- 3) 教育部
 - (1) 第46回 理学療法指導者講習会開催
 - (2) 第46回 理学療法指導者講習会DVD作成

8. 理療出版部

- 1) 理療出版内容の検討及び原稿依頼
- 2) 理療原稿の収集、校正、編集作業
- 3) あはき師、柔整師養成校などへの寄贈
- 4) 印刷製本予定部数
 - (1) Vol 52 No.4 (204号 / 5月) 1,350部
 - (2) Vol 53 No.1 (205号 / 8月) 1,350部
 - (3) Vol 53 No.2 (206号 / 11月) 1,350部
 - (4) Vol 53 No.3 (207号 / 2月) 1,350部

- 2) 単位取得講習会等の開催報告書に係わる審査及び支部・地方会別申請単位並びに承認単位数一覧表の作成と報告
- 3) 技能認定登録制度に係わる登録申請書類の受理・審査・登録及び証書、手帳の交付
- 4) 登録更新者リストの作成と支部への伝達
- 5) 学会・講習会開催案内等のホームページ掲載

9. 特殊出版部

- 1) 理療「音声対応CD」作製と配布
- 2) 広報「CD版」作製と配布
- 3) 広報「デイジー版」作製と配布

10. 運動療法機能訓練技能講習会委員会

- 1) 神奈川県支部・近畿地方会で開催予定
- 2) 第30回 技能認定試験実施

12. 表彰選考委員会

- 1) 通年時の表彰である栄誉賞、学会長及び準備委員長表彰、組織拡充貢献支部表彰、特別感謝状等に係る事務処理
- 2) 支部及び地方会の記念学会等における協会長表彰者の選考と表彰準備
- 3) 叙勲・褒章候補者の推薦と関係官庁との折衝

11. 技能認定登録制度委員会

- 1) 委員会の開催

以上

協会創立75周年・法人認可60周年 記念祝賀会の開催について

日 時 令和5年5月27日 18:30～20:30

会 場 ホテルグランド^{しのめ}東雲
茨城県つくば市小野崎 488-1

交 通 (1) 学会会場より送迎バスあり。
(2) つくばエクスプレス つくば駅より徒歩約8分

参加費 10,000円

申込締め切り 参加を希望される方は、令和5年4月20日までに、所属の支部長にお申し込みください。
申込者多数の場合、本部で調整させていただくこともありますので、予めご了承ください。

備 考 役員、支部長、地方会執行委員長には、後日通知を郵送いたします。

令和5年度 収支予算書

令和5年2月19日作成

入金収入	90,000
本年度会費	24,250,000
過年度会費	2,288,000
翌年度会費	0
会友会費	88,000
会費等収入合計	26,716,000

会費等収入	26,716,000
事業収入	10,392,000
計	37,108,000
管理費支出	15,582,260
事業費支出	21,225,740
計	36,808,000
収支差額	300,000

	本部管理費	支部管理費	全国学会 特別会計	地方学会 特別会計	技能講習 会特別会 計	技能認定 登録制度 特別会計	指導者講 習会会計	伝達講習 会会計	課題講習 会会計	理療発行 事業会計	広報発行 事業会計	記念事業 特別会計
事業活動収入合計			1,200,000	500,000	3,000,000	1,420,000	0	1,312,000	2,960,000	0	0	2,000,000
役員報酬	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当支出	1,200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000
旅費交通費支出	2,300,000	1,983,090	800,000	200,000	400,000	6,000	1,000,000	393,200	1,048,950	0	0	400,000
通信運搬費支出	960,000	706,290	300,000	100,000	50,000	285,000	50,000	155,580	416,910	0	0	100,000
消耗品費支出	250,000	515,700	100,000	100,000	50,000	281,500	10,000	241,500	460,600	0	0	100,000
修繕費支出	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費支出	110,000	48,000	1,200,000	300,000	250,000	326,000	100,000	20,000	60,000	3,200,000	1,400,000	600,000
光熱水料費支出	180,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料支出	600,000	703,800	300,000	200,000	250,000	0	200,000	368,600	734,500	0	0	0
保険料支出	0	0	0	0	0	0	0	0	130,000	0	0	0
諸謝金支出	0	0	700,000	200,000	2,000,000	0	300,000	50,568	1,406,136	800,000	0	0
租税公課支出	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負債金支出	4,197,200	228,180	100,000	100,000	0	1,000	40,000	7,000	32,696	0	0	600,000
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
過年度支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
翌年度支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0												
支出合計	11,397,200	4,185,060	3,500,000	1,200,000	3,000,000	899,500	1,700,000	1,236,448	4,289,792	4,000,000	1,400,000	2,000,000
収支差額			-2,300,000	-700,000	0	520,500	-1,700,000	75,552	-1,329,792	-4,000,000	-1,400,000	0

財務状況の推移

〈収入の部〉

令和5年2月19日作成

項 目	令和元年度決算	2年度決算	3年度決算	4年度決算	5年度予算
会費等収入	31,049,000	28,686,000	26,686,000	22,914,000	26,716,000
日本理学療法学会	1,995,001	0	2,618,357	2,053,570	1,200,000
地方学会事業	1,640,352	0	117,000	584,000	500,000
技能講習会事業	6,175,000	0	4,524,000	3,576,125	3,000,000
技能認定登録事業	1,560,000	1,361,000	1,406,000	425,000	1,420,000
課題講習会事業 (伝達講習会を含む)	4,958,500	1,471,000	3,174,723	2,402,000	4,272,000
理療発行事業	0	0	0	20,000	0
記念事業	0	0	0	136	0
その他				10	0
合 計	47,377,853	31,518,000	38,526,080	31,974,841	37,108,000

〈支出の部〉

項 目	令和元年度決算	2年度決算	3年度決算	4年度決算	5年度予算
日本理学療法学会	5,899,016	1,767,545	3,589,755	3,254,491	3,500,000
地方学会事業	2,649,062	54,651	427,338	1,354,073	1,200,000
技能講習会事業	5,814,441	121,660	3,798,829	2,261,394	3,000,000
技能認定登録事業	1,068,471	329,897	244,954	259,359	899,500
課題講習会事業 (伝達講習会を含む)	4,380,696	1,260,026	2,571,714	2,432,848	5,526,240
指導者講習会事業 (受講者旅費等を含む)	1,713,884	60,746	939,977	1,288,561	1,700,000
理療発行事業	4,332,127	3,168,763	724,442	3,796,489	4,000,000
広報発行事業	1,599,447	1,456,885	122,329	980,999	1,400,000
記念事業	0	0	0	75,598	2,000,000
本部活動費	15,953,109	12,298,386	15,943,965	10,732,348	11,397,200
地方会・支部活動費	6,790,520	4,069,006	4,310,159	2,803,867	4,185,060
合 計	50,200,773	24,587,565	32,673,462	29,240,027	36,808,000
収支差額	-2,822,920	6,930,435	5,852,618	2,734,814	300,000

令和4年度 会費納入状況

令和5年2月19日 現在

No.	支部名	正会員	納入者数	未納者数	No.	支部名	正会員	納入者数	未納者数
1	北海道	53	52	1	26	京都・滋賀	43	39	4
2	青森	4	4	0	27	大阪	122	105	17
3	岩手・秋田	16	16	0	28	兵庫	21	19	2
4	宮城	9	9	0	29	奈良	9	9	0
6	山形	7	7	0	30	和歌山	14	14	0
7	福島	27	27	0	31	鳥取	1	1	0
8	茨城	40	40	0	32	島根	1	1	0
9	栃木	18	18	0	33	岡山	2	2	0
11	埼玉	117	99	18	34	広島	38	34	4
12	千葉	54	52	2	35	山口	1	0	1
13	東京	92	88	4	36	徳島	5	5	0
14	神奈川	65	58	7	37	香川	16	16	0
16	新潟	20	20	0	38	愛媛	28	28	0
17	長野	17	17	0	40	福岡	4	4	0
18	富山	14	14	0	42	長崎・佐賀	5	4	1
19	石川	17	16	1	44	大分	8	8	0
20	福井	9	7	2	46	鹿児島	37	33	4
21	静岡	19	18	1	47	沖縄	1	1	0
22	岐阜	54	50	4					
23	愛知	120	116	4					
24	三重	21	21	0		合 計	1,149	1,072	77

※ 納入対象者数に会友・休会は含みません

※ 令和4年度 JCB カードでの会費引き落とし者は 695 名

令和5年度 会費納入のご案内

1. 令和5年度の会費につきましては、以下の要領に従い納入してください

- 1) 納入対象者 令和5年4月1日現在の会員
- 2) 会費納入期限 令和5年4月30日
- 3) 納入金額 協会費 22,000円 連盟会費 1,000円
- 4) 納入方法

● JCB ビジネスカード納入（カード納入が原則）

振替日 令和5年5月10日

※ 協会会費はJCB ビジネスカードで納入することが基本です

JCB カード未加入の方は至急協会本部へ加入申請を行ってください
必要書類をお送りいたします

● 「ゆうちょ銀行」から「ゆうちょ銀行」への振込口座

〔口座記号・番号〕 00110-5-3747

〔口座名義〕 公益社団法人全国病院理学療法協会

支部名・氏名を必ず記入してください

※例：令和5年度会費 東京支部 理療 太郎

● 他の銀行（ATM）などから「ゆうちょ銀行」への振込口座

〔銀行名〕 ゆうちょ銀行

〔店名〕 〇一九（ゼロイチキュウ）

〔預金種目〕 当座預金

〔口座番号〕 0003747

〔口座名義人〕 公益社団法人全国病院理学療法協会 平野

支部名・氏名を必ず記入してください

※例：令和5年度会費 東京支部 理療 太郎

※ 請求書・領収書が必要な方は、協会本部にお申し出ください

※ 協会費 22,000円・連盟会費 1,000円

※ 合計で23,000円の納入となります。

※ 振り込み手数料はご自身でご負担願います

令和4年度 臨時理事会 議事録(抄)

日時 令和5年1月15日(日) 10:00~10:35

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小路口 憲(常任理事・広報局長・理療出版部長)

丹羽つとむ(常任理事・組織局長)

三浦 政則(財務局長)

野山 隆司(情報管理局长・保険局次長)

寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

坂原 博昭(組織局次長)

監事 中川 保・大内田 義己

欠席者 公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

、クラウドシステム管理部長 佐藤 功

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて議案の司会進行を平野会長が議長を務めること、また録音は野山、書記は小路口が担当することが告げられ、議案の審議が行われた。

議題1) 令和5年度 基本姿勢(案)

小路口 基本姿勢2.と同様に基本姿勢5.においても等と記載せずに「はり師、きゅう師」を明記すべきではないか。

平野 明記する。

坂原 基本姿勢6.で退会者を出さない対策を明記すべきではないか。コロナ禍で講習会に参加できない会員も大勢いるため、その対策も必要と思われる。

小川 基本姿勢(案)の冒頭で対応している。

小路口 組織強化については前回の理事会で組織局、保険局が中心で取り組むことが承認されているが、どのように取り組むのか。

丹羽 組織強化については平野会長、小路口、青柳、丹羽で協議する。
(全会一致で承認)

議題2) 令和5年度 予算概要(案)

野山 本部運営費の月/50万円の詳細はどのようになっているのか。

三浦 葬税理士23万、役員給与10万、コピー機4万、ウエンドレス社3万などである。

野山 固定費は削られないが、今後は学会、講習会などの支出を抑える必要がある。

三浦 会員数の減少を考えると、意見のとおりである。

平野 学会の1日開催も検討したいと思う。

(全会一致で承認)

以上

令和4年度 第3回 理事会 議事録(抄)

日時 令和5年3月5日(日) 10:00~12:00

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小路口 憲(常任理事・広報局長・理療出版部長)

丹羽つとむ(常任理事・組織局長)

三浦 政則(財務局長)

野山 隆司(情報管理局长・保険局次長)

坂原 博昭(組織局次長)

監事 中川 保・大内田 義己

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

欠席者 寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて報告事項は青柳副会長が司会進行を。議案は平野会長が議長を務めること。また録音は野山、書記は小路口が担当することが告げられ、事業及び各部局の報告と議案の審議が行われた。

1. 報告事項

報告1) 諸会議及び役員渉外行動報告並びに本部発信文書について

平野 諸会議並びに役員渉外行動、本部発信文書については報告書のとおりである。

(諸会議及び渉外行動報告書 P21 参照)

(発信文書報告書 P22 参照)

報告2) 協会ホームページの更新履歴報告

野山 令和4年度の協会ホームページ更新履歴報告書のとおりである。

(更新履歴報告書 P25 参照)

報告3) 財務クラウドリニューアル作業の進捗状況

野山 関係役員並びに一部の地方会財務担当者及び税理士法人の協力で新システムの入力作業と確認を実

施、不備な点について対応を依頼し修正した。

試験的に令和5年1月31日時点のデータを新システムのテスト環境へ移行し、新システムの環境下で年度末決算処理と年次更新を実施し、検証テストを行った。

2月中旬には、税理士法人の再検証を実施した結果、年次更新での新システムには特段の問題はみられていない。

今後の予定としては、現行システムを3月31日まで(入力終了期限4月中旬)使用し、その後、現行データを新システムへ移行したうえで、年度末処理及び年次更新処理を実施する。年次更新の完了が確認次第、新システムの完全運用を開始する。

中川 財務クラウドリニューアルへの支払いはどのようになっているのか。

野山 契約時に交わした金額の残金を、新システム完全運用後に支払う。時期としては5月末頃を予定している。

報告4) 令和4年度 会費納入状況報告(2月19日現在)

三浦 会費納入対象者は、1,149名、納入者1,072名で未納者77名となっている。

地方会、支部役員は会費納入状況の詳細を一覧表で確認してほしい。

(会費納入状況一覧表 P13 参照)

報告5) 入・退会者の現状報告

丹羽 3月3日現在、入会者42名、退会者56名、休会者3名、会友1名である。

報告6) 令和4年度 運動療法機能訓練技能講習会の進捗状況

小川 神奈川県支部で開催した技能講習

会は2月12日修講した。2月26日の第29回認定試験では32名全員が合格している。

報告7) 第71回 日本理学療法学会の進捗状況

青柳 学会抄録は3月20日頃の発送を予定している。5月27日から始まる学会には、代議員会に参加した役員並びに協会創立75周年記念式典で表彰を受ける会員全員が、学会の開会式より参加することをお願いしたい。学会の成功に向け本部役員には、受賞者へ出席の声かけをお願いしていただきたい。また、理事会構成員には、当日、会場設営など協力をお願いする。

報告8) 理療・広報の発行状況

小路口 発行状況は事業報告のとおりである。広報246号(議案書)は、3月下旬の発行を予定している。

2月発行の理療203号では協会組織の啓蒙並びに公益事業として、全国の「あはき師、柔整師」の養成校171校へ協会案内のリーフレットを同封して理療を贈呈している。

(令和4年度事業報告P4参照)

報告9) 協会創立75周年記念式典に係る表彰候補者の進捗状況

平野 大臣表彰は申請中、高木賞21名、後藤賞32名、功績賞36名、功労賞47名に決定し、通知は準備中である。

報告10) 第37回 近畿理学療法学会報告

中川 2月26日エルおおさか南ホール(大阪市)の会場で「2025年問題に向けて今何をすべきか」をテーマに開催した。参加者は120名(実参加79名、リモート参加41名)、会員発表9題であった。

2. 議題

議題1) 令和5年度 事業計画(案)

平野 令和5年度事業計画(案)について審議願いたい。

小川 令和5年度の技能講習会は、神奈川県支部と近畿地方会で開催の予定。

野山 新年度の地方学会の開催予定はどのようにになっているのか。

小川 令和5年度は中部会より開催の申請が出ている。

(令和5年度事業計画P8参照)

(全会一致で承認)

議題2) 令和5年度 予算書(案)

三浦 1月の臨時理事会での予算概要の討議を踏まえ、地方学会の予算を見直している。収支予算は別紙のとおりである。

(令和5年度収支予算書P11参照)

(全会一致で承認)

議題3) 協会創立75周年記念誌発行の承認

平野 平成20年に60周年記念誌を発行している。節目の創立75周年を記念して「創立75周年記念誌」を発行したい。編集委員は平野、倉石、柳澤、小川、青柳、小路口とし、委員長は柳澤氏に依頼する。

坂原 記念誌発行予算はどの程度かかるのか。

平野 経費は、約150万円を計上し、記念学会基金、高木賞基金等の特別会計から充当する。記念誌に掲載する原稿は、5月末を締め切りとして依頼したい。発行は11月を予定している。

(全会一致で承認)

議題4) 会費長期未納者の会員資格の喪失及び会計損失処理に係る承認

三浦 除籍対象者は3年間会費を未納した者で、現在38名が対象者となっている。

(全会一致で承認)

議題5) 北海道地方会所属支部の統廃合についての承認

平野 北海道地方会より所属支部の廃止の申請が出ている。

杉浦 令和5年4月1日より北海道地方会の5支部を廃止し、北海道支部を置く。
廃止により定款細則の別表を変更する。

(全会一致で承認)

議題6) 表彰に関する承認

平野 以下の表彰者を提案する。

(1) 栄 誉 賞

令和4年春の褒章 藍綬褒章

小川 嗣 人 氏

和4年秋の褒章 藍綬褒章

青柳 利 之 氏

(2) 学会長・準備委員長表彰

第70回 日本理学療法学会

学 会 長 小川 嗣 人 氏

準備委員長 杉浦 幹 雄 氏

(3) 組織拡大貢献支部表彰 該当支部無し

(4) 学術奨励賞 未 定

(5) 特別感謝状 未 定

(全会一致で承認)

議題7) 第72回 日本理学療法学会についての承認

平野 これまでの輪番制を念頭に各地方会に対して学会の開催担当を打診してきたが受託には至らなかった。このような状況について監事に意見を求める。

中川 協会の大事な事業なので北海道、北陸、中国などの地方会で受けてほしい。

平野 このような事態に対して、監事として解決の方策をどう考えるのか。

中川 学会開催の重要性を地方役員に理解していただき学会を担当してほしい。

平野 監事として各地方役員に対して学会開催の取り組みの重要性を話しているのか。

中川 特には、していない。

大内田 東北地方会でも議論しているが開催には至らない。

平野 定款4条に定められている事業であるので、各地方会で担当できない事であれば、会長として「72回日本理学療法学会」に限って本部で担当することを提案するので意見を求める。

青柳 学会の開催は協会の象徴でありませんが、「72回日本理学療法学会」を本部で開催したとしても、その後の開催の見込みが立たない状況であれば「72回学会」をやっても意味がない。やらない方が良く考える。

象徴である学会を果たせなくなってきた現状を重く認識すべきであり、協会の将来について話し合う時期に来ているのではないかと。

杉浦 日本理学療法学会は協会の主要事業であり、定款に年1回の開催を定めている。担当する地方会が決まらないことで中止は出来ない。学会を開催しなければ公益法人の看板を下ろさなければならない。前回の地方会代表者会議で議論になったように1日学会として、今回に限って本部で担当して開催してはどうか。

小川 全国学会はこれまで各地方会を輪番制で70回以上開催し、新型コロナウイルスの感染も乗り越えて開催してきた。「72回日本理学療法学会」の担当を各地方会へ再三にわたってお願いしているが了解されない。その反面、地方学会は開催している。地方会、支部の役員に対しては輪番制で開催する意義を再度認識し自覚してほしい。また、地方会で担当できないからと言って安易に本部で担当することは将来的には良くないことだ。

野山 小川学術局長と同意見である。中止することはできない。学会の規模を縮小してでも開催しなければ

ならない。地方学会の開催規模で良いのではないか。

小路口 今までどおりに年1回学術団体として全国学会は継続すべきである。地方会が輪番制で学会開催を担当できるように本部、支部で負担軽減を図るべきだ。

丹 羽 小川学術局長と同意見である。地方学会を開催している地方会が、全国学会を開催できないことに疑問を感じる。

坂 原 72回学会は本部でやってほしい。今後の学会開催については、本部、地方の役割分担を整理して開催に当たれば、輪番制で継続できるのではないか。

三 浦 オンラインでも、1日学会でも良いので全国学会は毎年開催すべきである。

平 野 72回学会は本部が担当し、1日学会としてやるべきとの意見が多い。この辺で承認を取りたい。

青 柳 73回学会は近畿地方会の担当が予定されているが、74回学会以降が決まらなかった時のことを含めて承認を取るべきではないか。学会開催は地方会が輪番で行うという理事会での決議が果たされていない現状が在る。輪番制が実行されるように、もっと具体的に踏み込んだ決議文にすべきではないか。

杉 浦 令和6年の代議員総会に第74回の開催地を提案されない場合は、「その経過と協会の定款を踏まえ、今後の公益法人としての協会の在り方を協議する」という付帯事項を承認事項に盛り込んだらどうか。

野 山 次の地方会代表者会議で学会開催に係わる地方会輪番制の在り方を協議すべきである。

小路口 野山理事と同意見である。今後の輪番制を維持して行くためには地方会代表者会議で協議し、理解を深めるべきであるが、今回の「第

72回日本理学療法学会」の承認については、定款上、中止は出来ない。本意ではないが緊急事態を回避する措置として、72回学会の開催は本部が担当するしかない。

平 野 第72回日本理学療法学会の承認に当たっては、「令和6年の代議員総会に第74回の開催地が提案されない場合は、その経過と協会の定款を踏まえ、今後の公益法人としての協会の在り方を協議する」このことを付議し、72回学会の開催は本部担当で1日学会として開催する。以上の内容で承認を求め。
(全会一致で承認)

議題8) 第73回 日本理学療法学会の開催地の決定

平 野 近畿地方会より立候補の届が出ている。

小 川 町井近畿地方会執行委員長より大阪万博開催の年でもあり、全力を挙げて開催したい旨の連絡が届いている。

平 野 「第73回 日本理学療法学会」の開催地を近畿地方会とすることを提案する。
(全会一致で承認)

議題9) 公益目的資金(定期預金)の取り崩しの承認

平 野 年度当初の運用資金として定期預金を解約し、会費が納入される5月中旬に同額を定期預金に戻すことを提案する。
(全会一致で承認)

議題10) 役員改選管理委員の選任及び承認

平 野 定款細則14条の役員改選管理委員選任について、各地方会より3名の委員が選出された。

佐々木 剛(北海道・東北・関東甲信越)

松田 覚(北陸・中部・近畿)

武智 健二(中国・四国・九州)

(全会一致で承認)

議題 11) 会友・休会届の承認

平野 山口力（山形県支部）より会友届が提出されている。兵庫県支部、石川県支部の2名の会員より休会届が提出されている。

2名からの休会届の事由が「認定登録の資格を使用しないので」とあるが、これに対して意見を求める。

小路口 入会の目的は資質向上であり、研鑽を積む目的で入会している。技能認定登録を使わないことで休会扱いには出来ない。

青柳 休会事由の証明とは、病気、出産、災害などで、定款にあるように証明の提出が必要である。休会は認められない。

杉浦 現在、認定登録を使用していない会員は多くなっている。そのことで休会扱いにはできない。

野山 休会の事由には該当しないので認められない。

平野 会友届は承認し、休会届に関しては却下とする。

(全会一致で承認)

議題 12) 提言・要望

平野 中部地方会より、以下の3点について提言要望が出ている。

(提言・要望(要旨) P24 参照)

1. 次期診療報酬改定についての要望
青柳 技能認定登録者の算定水準については、格差是正を要望している。中医協の審議内容も確認している。所得水準の意見に対しては、厚生労働省へ申し入れをしているが、「あなたたちには開業権があるのでそちらの方で所得上の課題を解決してください」と言われている。消炎鎮痛処置料の見直しについても要望している。
柔道整復師が「マッサージの手技療法」を算定できるかについては制度を精査しないとわからない。

中部会からの提言要望事項については、これまですべて要望してきている。

小路口 消炎鎮痛処置料の見直しの要望に対して担当者より「開業権があるでしょう」と言われている。中部会の要望の中にもあるように協会の中にも同様の解釈をしている会員がいる。協会の要望の本質からかけ離れた議論になっているのではないか。

青柳 ここでは、中部会に対しての返答にとどめ、小路口理事の意見については改めて議論する。

2. 日本理学療法学会についての要望
小川 学会の主催はこれまでも本部が担っている。開催地の担当を支部、地方会にこれまでどおりお願いしている。会員数の現状を鑑みながら本部としても協力できるものは協力する。

3. 地方会、支部役員報酬についての要望
杉浦 役員への活動に対しての報酬の支払いは、定款上できないことになっている。

議題 13) 第64回 定時代議員総会の日時、場所、及び議事に付議すべき事項の承認

平野 第64回 定時代議員総会を令和5年5月26日(金)茨城県県南生涯学習センターで開催し、議案第1号～第7号を提案する。

(全会一致で承認)

理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
11/5	協会事務所	理事会对応会議(平野・小川・青柳・杉浦)
6	オンライン	令和4年度 第2回理事会(理事会構成員)
7	オンライン	令和4年度 第4回あはき等法推進協議会(平野・青柳)
13	ニュー大崎会議室	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
15	オンライン	東洋療法研修試験財団生涯研修検討委員会(平野)
16	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦)
16	オンライン	視覚障害者のマッサージ師へ新型コロナの影響調査委員会(平野)
20	オンライン	令和4年度 第2回地方会代表者会議(理事会構成員・地方会代表者)
20	協会事務所	協会費督促状発送作業・247通(平野・三浦)
25	協会事務所	理学療法指導者講習会DVD発送作業(平野・小川)
26	協会事務所	協会創立75周年記念式典に係る表彰委員会(平野・小川・倉石・柳澤)
28	協会事務所	記念学会基金・高木賞基金の定期預金に係る東日本銀行担当者との打ち合わせ(平野)
12/5	協会事務所	リコーコピー機の入れ替えに係る打ち合わせ(平野・リコー担当者)
7	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦・佐藤)
14	協会事務所	第3四半期会計ファイル発送作業(平野・三浦)
16	協会事務所	協会事務所大掃除(平野・小川)
18	アルカディア市ヶ谷	理教連創立70周年記念式典・祝賀会(平野)
19	協会事務所	パソコンセッティング作業(佐藤)
20	厚生労働省医事課	藍綬褒章拝受(平野)
25	協会事務所	協会事務所大掃除(平野・青柳)
1/10	協会事務所	厚生労働大臣表彰関連書類整理(平野)
13	協会事務所	電気設備点検立ち合い(平野)
15	オンライン	臨時理事会(理事会構成員)
16	オンライン	令和4年度 第5回あはき等法推進協議会(平野・青柳)
18	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦)
21	人事労務会館	大崎駅西口再開説明会(平野)
26	協会事務所	協会表彰に係る表彰選考委員会(平野・倉石・柳澤)
2/8	オンライン	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦・佐藤)
11	協会事務所	令和5年度予算編成(三浦・杉浦)
12	伊勢原シティープラザ	令和4年度 運動療法機能訓練技能講習会 閉講式(平野・杉浦)
14	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
15	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦)
16	協会事務所	厚生労働大臣表彰推薦書類修正作業(倉石・柳澤・平野)
19	オンライン	令和4年度 第3回地方会代表者会議(理事会構成員・地方会代表者)
19	協会事務所	会費の督促状発送作業(三浦・杉浦・平野)
26	大阪府労働センター	第37回 近畿理学療法学会(平野)
3/4	協会事務所	理事会对応会議(平野・小川・青柳・杉浦)
4	協会事務所	第29回 技能認定試験合否判定会議
5	オンライン	令和4年度 第3回理事会(理事会構成員)
13	オンライン	令和4年度 第6回あはき等法推進協議会(平野・青柳)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
11/1	45	厚生労働事務次官	第71回 日本理学療法学会後援名義使用について
1	45-2	関係医学会 (10団体)	同 上
7	46	支部長・執行委員長 各位	新型コロナウイルス感染拡大に係る技能認定登録制度の登録期限延長の特例措置終了について
20	47	会費未納該当者	令和4年度 会費納入のお願い
20	48	会費未納該当者	令和3年度 会費納入のお願い
26	49	支部長・執行委員長 各位	第45回理学療法指導者講習会のDVDの送付について
12/1	50	厚生労働省医政局長	「協会創立75周年・法人認可60周年記念式典」に係る厚生労働大臣表彰推薦候補者の申請について
15	51	支部長・執行委員長 各位	令和4年度 第3四半期決算ファイルの送付について
15	52	理事会構成員 各位	臨時理事会の開催のお知らせ
25	事務連絡	JCB担当者	JCBビジネスカード申込書の送付
1/7	53	理事会構成員 各位	令和4年度 臨時理事会 討議資料の送付について
11	事務連絡	国立国会図書館	広報243・244・245号の送付について
12	54	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
12	55	厚生労働省医政局医事課総務係長	厚生労働大臣表彰申請書に係る関係書類の送付について
16	56	執行委員長・財務担当者 各位	令和5年度 予算書の作成について
18	57	四国地方会執行委員長 石川啓一	第72回 日本理学療法学会開催のお願い
20	58	公社) 日本理学療法士協会会長 斉藤秀之	第71回 日本理学療法学会後援名義使用について (再送)
25	59	支部長・執行委員長 各位	令和5年度 基本姿勢・予算概要の送付について
25	60	執行委員長・理事会構成員 各位	令和4年度 第3回地方会代表者会議 開催通知
2/11	61	理事会構成員 各位	令和4年度 第3回理事会の開催について
19	62	令和4年度会費未納者	令和4年度 会費納入のお願い
19	63	過年度会費未納者	協会費納入のお願い(令和2年度・3年度)
20	事務連絡	厚生労働省医政局医事課総務係長	理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰推薦者名簿等の再提出について
23	64	理事会構成員 各位	令和4年度 第3回理事会 討議資料の送付
24	65	厚生労働省医政局医事課総務係長	理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰推薦者名簿等の提出について
28	66	厚生労働省医政局長	理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰推薦者名簿等の提出について
3/5	67	支部長・原稿依頼関係者 各位	協会創立75周年記念誌への原稿執筆依頼
6	68	支部長 各位	第29回 認定試験合格証送付並びに技能認定登録について
6	69	地方会執行委員長・支部長	令和4年度 決算の繰越金について

青 柳 利 之 先生

藍綬褒章受章の榮譽に輝く



令和4年秋の叙勲・褒章におきまして、かねてより厚生労働省医政局を通じて申請中でありました本協会の副会長、青柳利之先生には、栄えある藍綬褒章の榮譽に浴されました。

藍綬褒章は、教育・衛生・福祉等の分野における優れた活動を通して、公共の利益に顕著に貢献した者に贈られる国の栄典の一つであります。

受章伝達式と皇居での天皇陛下への拝謁は、残念ながら新型コロナウイルス拡大防止の観点から今回も中止となりました。

先生は、昭和56年に本協会に入会して、平成2年から茨城県支部理事、平成6年から副支部長、平成16年からは支部長として支部運営に従事し、会員の資質向上と学識技術の向上に貢献されました。特に平成20年に水戸市で開催された第57回日本理学療法学会の学会長を務め、学会を成功させるなど多大な功績をいたしました。

平成18年からは本部常任理事に選任され、財務局、広報局、保険局の事業に携わりました。特に保険局では介護保険部長として診療報酬及び介護報酬における厚生労働省、関係医学会への要望活動を積極的に行い、技能認定登録者の通所リハビリ利用時間1～2の所定単位数算定に寄与し、平成24年の介護報酬改定では技能講習会の介護分野のカリキュラムを改定し、福祉用具専門相談員の指定講習会とする取り組みを行い、一部の地域で指定講習会として認められました。

平成30年から副会長（事務局長、保険局長を兼務）として会長を補佐し、協会運営に携わり理学療法従事者の職域の確保と学識、技術の向上に尽力しております。

先生の功績を語るには枚挙にいとみませんが、まずは会員各位とともに心から祝福し、今後ますますのご健康とご活躍をご祈念申し上げ、榮譽報告といたします。

令和4年11月吉日

公益社団法人 全国病院理学療法協会 表彰選考委員会

支部・地方会からの提言・要望(要旨)

中部地方会

1. 次期診療報酬改定について

1) リハビリテーション料における技能認定登録者の算定水準については、引き上げが望ましいが、最低でも現行維持の確保を対応していただきたい。

(1)リハビリテーション料は18年改定以降、改定されていない。中医協の審議内容を注視し、対応していただきたい。

(2)原稿の算定基準では、勤労者の平均年収の水準を下回っている。

2) 消炎鎮痛処置料の見直しが以前より俎上に上がっている。中医協の審議内容を注視し、その対応を求める。

(1)「マッサージの手技療法」が、長期にわたって据え置かれている。

(2)マッサージの算定要件である「あん摩マッサージ指圧師」に等を追加して柔道整復師も「マッサージの手技療法」の算定ができるように求める。

(3)会員が保持している免許資格の「手技療法」を中心とした要求活動を求める。

(4)「手技療法にかかわる適切な研修」を新たに開催し、手技療法の技能認定の評価を求める。

2. 日本理学療法学会について

日本理学療法学会の開催は、各地方会が輪番で開催しているが、多くの地方組織は弱体化しており、本部学術局で主催していただきたい。

3. 地方会、支部役員報酬について

協会の事務、実務に従事した場合、賃金の支給を検討していただきたい。

令和4年度 協会ホームページ更新履歴

令和5年2月18日

令和4年		
4月17日	新着	広報243号
4月24日	新着	広報243号の誤表記について
4月27日	新着	第70回 日本理学療法学会(参加申し込み期間延長)のお知らせ
5月24日	更新	理療199号・200号の近刊案内
5月28日	新着	令和4年度 運動療法機能訓練技能講習会のご案内
6月4日	新着	令和4年度 技能認定講習会開催のご案内
6月12日	新着	令和4年度 第45回理学療法指導者講習会のご案内
6月13日	更新	役員名簿
6月18日	更新	連絡先一覧
7月1日	新着	第70回 日本理学療法学会Web開催(配信開始)
7月1日	更新	会員用研修動画配信 → 第70回 日本理学療法学会
7月13日	新着	第60回東北理学療法学会(日程変更)のお知らせ
7月24日	更新	情報公開資料
7月24日	更新	年間事業計画
7月28日	新着	広報第244号
7月28日	新着	広報第244号 の誤表記について
8月7日	新着	北海道地方会創立70周年記念理学療法研修会のご案内
8月16日	追加	協会創立75周年記念式典に係る(表彰候補者申請書)
8月16日	追加	協会創立75周年記念式典に係る(様式一式)
8月22日	新着	第45回 理学療法指導者講習会の受講申し込み期限の延長について
8月25日	新着	認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会の受講申し込み期限延長について
8月25日	更新	理療201号の近刊案内
9月3日	新着	第5回 関東甲信越地方理学療法学会のご案内
9月9日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
9月17日	新着	第70回 日本理学療法学会終了報告
9月23日	追加	理療200号別冊の近刊案内
9月23日	新着	理療200号別冊総索引の誤植について
10月5日	新着	第71回 日本理学療法学会のご案内
10月5日	更新	日本理学療法学会のご案内(第71回 日本理学療法学会)
10月13日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
11月8日	新着	技能認定登録制度の登録更新期限延長の特例措置終了について
12月6日	更新	技能認定登録者名簿
12月8日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
12月12日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
12月28日	新着	広報245号
12月28日	更新	理療202号の近刊案内
12月29日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
令和5年		
1月10日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
1月10日	新着	第37回 近畿理学療法学会のご案内
1月31日	新着	第37回 近畿理学療法学会(市民公開講座)のご案内
2月10日	追加	地方学会・課題講習会開催案内
2月15日	追加	地方学会・課題講習会開催案内

令和5年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表

(令和5年3月1日現在)

	代議員総会 理事会・監査会等	広報・理療発行	学会・記念式典等
令和5年 4月	令和4年度 監査 29日(祝)		
5月	第64回 定時代議員 総会26日(金)	理療204号	第71回 日本理学療法学会 27日(土)・28日(日) 土浦市 茨城県県南生涯学習センター 協会創立75周年記念式典・祝賀会 27日(土)
6月	第1回 理事会 11日(日)		
7月		広報247号	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会 開講式 関東甲信越地方会 神奈川県支部(日時・会場未定) 近畿地方会(日時・会場未定)
8月		理療205号	
9月			
10月			第46回 理学療法指導者講習会 (テーマ・日時・会場未定)
11月	第2回 理事会 5日(日)	理療206号	第57回 中部理学療法学会 (日時・会場未定)
12月		広報248号	
令和6年 1月			令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会 修講式 関東甲信越地方会 神奈川県支部(日時・会場定) 近畿地方会(日時・会場未定)
2月		理療207号	第30回 運動療法機能訓練技能講習会 技能認定試験(日時・会場未定)
3月	第3回 理事会 3日(日)	広報249号	

- ※ 令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会は、神奈川県支部及び近畿地方会で開催予定
- ※ 葵税理士法人との財務処理を適宜開催する予定
- ※ あはき等法推進協議会・東洋療法研修試験財団関連の会議は不定期に開催

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

e-mail yakuaa@mars.plala.or.jp

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲

ken218@lapis.plala.or.jp